学校番号	408

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	地理総合	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	高等学校 新地理総合（帝国書院） 新詳高等地図（帝国書院）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・教科書内容に沿った学習プリントを用いて、地理の基本的な知識をおさえる。
・学習の中で、地図帳を用いての演習問題・課題に取り組み、日本・世界の諸地域の特色等を学ぶ。
・演習問題に関連した小テスト・レポート課題・発表等を学期中に複数回おこない、知識の定着と評価をおこなう。
・現代の世界の諸地域で課題となっている問題について、ディスカッションなどをおこなって意見を交換し、自己の考えを主張することを学ぶ。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
・教科書や地図帳の資料に触れ、基礎的な地理的知識を身につけると共に、地理的環境が生活文化に与える影響や、国内・国外の諸地域（国家群）との関わりを理解する。
【思考力、判断力、表現力等】
・日本の国土、世界の国土に触れ、地球的な課題や諸外国との関係について、グローバルな視点をもって考え、発表する能力を培う。
・他者の意見を尊重し、且つ自身の意見・主張に自信をもてるようなコミュニケーション能力を身につける。
【学びに向かう力、人間性等】
・地理の学習を通じて、世界の歴史、文化、思想、経済、民族・宗教に関心をもち、世界の諸地域に見られる課題を主体的に考え、解決しようとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	日本・世界の諸地域の人文・自然地理の基本的な知識や国際世界の特色を正しく関連付け、自身の主張や意見を思考できるように理解している。日本・世界の諸地域の人文・自然地理に関する地図・グラフ・写真などの資料を見て情報を読み取り、必要な内容を活用できる。	日本・世界の諸地域の人文・自然地理的な知識を用い、国際世界においての諸課題について思考する。また、個別の課題について自身で考え、判断し、他者の意見に対して自己の意見を主体的に表現する。	日本・世界の諸地域の人文・自然地理的な知識を学び、その中で現代の国際世界に興味をもち、探究や疑問を積極的に発信する。それと共に、国際化する世界で意欲的に活動する日本に住む者としての自覚をもつ。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	地図と地理情報システム	地球上の位置と時差 地図の役割と種類	a:日常生活の中でみられるさまざまな地図の読図などを基に，地図や地理情報システムの役割や有用性などについて理解している。現代世界のさまざまな地理情報について，地図や地理情報システムなどを用いて，その情報を収集し，読み取り，まとめる基礎的・基本的な技能を身に付けている。 b:地図や地理情報システムについて，位置や範囲，縮尺などに着目して，目的や用途，内容，適切な活用の仕方などを多面的・多角的に考察し，表現している。 c:地図や地理情報システムについて，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究，解決しようとしている。	定期考査 ・小テスト	パフォーマンス課題・レポート	振り返りシート ・ノート
	結び付きを深める現代世界	現代世界の国家と領域 グローバル化する世界	a:現代世界の地域構成を示したさまざまな地図の読図などを基に，方位や時差，日本の位置と領域，国内や国家間の結び付きについて理解している。 b:現代世界の地域構成について，位置や範囲などに着目して，主題を設定し，世界的視野から見た日本の位置，国内や国家間の結び付きなどを多面的･多角的に考察し，表現している。 c:現代世界の地域構成について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究，解決しようとしている。	定期考査 ・小テスト	パフォーマンス課題・レポート	振り返りシート ・ノート

	生活文化の多様性と国際理解	世界の地形と人々の生活 世界の気候と人々の生活 世界の言語・宗教と人々の生活	a:世界の人々の特色ある生活文化を基に，人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり，影響を与えたりして多様性をもつことや，地理的環境の変化によって変容することなどについて理解している。 世界の人々の特色ある生活文化を基に，自他の文化を尊重し国際理解を図ることの重要性などについて理解している。 b:世界の人々の生活文化について，その生活文化がみられる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して，主題を設定し，多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し，表現している。 c:生活文化の多様性と国際理解について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究，解決しようとしている。	定期考査 ・小テスト	パフォーマンス課題・レポート	振り返りシート ・ノート
2	生活文化の多様性と国際理解	歴史的背景と人々の生活 世界の産業と人々の生活	a:世界の人々の特色ある生活文化を基に，人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり，影響を与えたりして多様性をもつことや，地理的環境の変化によって変容することなどについて理解している。世界の人々の特色ある生活文化を基に，自他の文化を尊重し国際理解を図ることの重要性などについて理解している。 b:世界の人々の生活文化について，その生活文化がみられる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して，主題を設定し，多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し，表現している。 c:生活文化の多様性と国際理解について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究，解決しようとしている。	定期考査 ・小テスト	パフォーマンス課題・レポート	振り返りシート ・ノート

	地球的課題と国際協力	複雑に絡み合う地球的課題 地球環境問題 資源･エネルギー問題 人口問題 食料問題 都市･居住問題	a:世界各地でみられる地球環境問題，資源･エネルギー問題，人口･食料問題及び居住・都市問題などを基に，地球的課題の各地で共通する傾向性や課題相互の関連性などについて大観し理解している。 世界各地でみられる地球環境問題，資源･エネルギー問題，人口･食料問題及び居住・都市問題などを基に，地球的課題の解決には持続可能な社会の実現を目指した各国の取り組みや国際協力が必要であることなどについて理解している。 b:世界各地でみられる地球環境問題，資源･エネルギー問題，人口･食料問題及び居住・都市問題などの地球的課題について，地域の結び付きや持続可能な社会づくりなどに着目して，主題を設定し，現状や要因，解決の方向性などを多面的・多角的に考察し，表現している。 c:地球的課題と国際協力について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究，解決しようとしている。	定期考査 ･小テスト	パフォーマンス課題･レポート	振り返りシート ･ノート

3	自然環境と防災	日本の自然環境 地震・津波と防災 火山災害と防災 気象災害と防災 自然災害への備え	a:我が国をはじめ世界でみられる自然災害や生徒の生活圏でみられる自然災害を基に，地域の自然環境の特色と自然災害への備えや対応との関わりとともに，自然災害の規模や頻度，地域性を踏まえた備えや対応の重要性などについて理解している。 さまざまな自然災害に対応したハザードマップや新旧地形図をはじめとする各種の地理情報について，その情報を収集し，読み取り，まとめる地理的技能を身に付けている。 b:地域性を踏まえた防災について，自然及び社会的条件との関わり，地域の共通点や差異，持続可能な地域づくりなどに着目して，主題を設定し，自然災害への備えや対応などを多面的・多角的に考察し，表現している。 c:自然環境と防災について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究，解決しようとしている。	定期考査 ・小テスト	パフォーマンス課題・レポート	振り返りシート ・ノート
	生活圏の調査と地域の展望	生活圏の調査と地域の展望	a:生活圏の調査を基に，地理的な課題の解決に向けた取り組みや探究する手法などについて理解している。 b:生活圏の地理的な課題について，生活圏内や生活圏外との結び付き，地域の成り立ちや変容，持続可能な地域づくりなどに着目して，主題を設定し，課題解決に求められる取り組みなどを多面的・多角的に考察，構想し，表現している。 c:生活圏の調査と地域の展望について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究，解決しようとしている。	定期考査 ・小テスト	パフォーマンス課題・レポート	振り返りシート ・ノート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度